

日産東京販売、新規オープンする八王子店の竣工式を実施

当社グループ会社である日産東京販売株式会社（本社：東京都品川区、社長：菊地 文夫）は28日、3月15日（土）にグランドオープンする八王子店（八王子市大和田町）の竣工式を執り行いました。

八王子店は、これまで同地域で店舗運営を行っていた八王子高倉店及び大和田店を統合し、明るく入りやすいデザインの大型店として、地域のみならずから親しまれる店舗をめざします。新たに太陽光パネルや蓄電設備、V2H（Vehicle to Home）などのエネルギーマネジメントシステムを導入して地球環境に配慮しています。

<八王子店の概要>

所在地：東京都八王子市大和田町5丁目5番10号

電話：042-649-3923

営業時間：10:00～18:00

店長：山口 祥道

工場長：岸野 悟

急速充電器：2基（50kW）



八王子店外観



竣工式の様子



八王子店のスタッフ

今回オープンする八王子店は、日産自動車グローバルで導入を推進する新世代店舗デザインコンセプト「ニッサン・リテール・コンセプト（以下 NRC）」を採用しています^{*}。外観はご来店されるお客さまがひと目でニッサンとわかる大型のハイウェイサインを設置するとともに、最大で8台展示できる大型のショールームには、展示車を見ながらじっくり商談できるスペースや、整備をお待ちのお客さまがくつろげるカスタマーラウンジを設けています。また、サービス工場には、電気自動車（EV）のバッテリーの脱着が可能な設備を初めて導入し、今後増えることが予想されるEVユーザーの整備要望に応えます。

^{*}八王子店の新規オープンにより、日産東京販売のNRC採用店舗は21店舗（新車：19店舗、中古車：2店舗）となりました。

八王子店の屋上一面に設置した太陽光パネルは、晴天時には店舗の一日の電力を賄い、余剰となった電力は、今回初めて導入する「日産リーフ」のリユースバッテリーを活用した蓄電池設備に蓄えられます。EVのリユースバッテリーの蓄電池としての活用は、14年にわたってEVを販売してきた日産だからこそできることです。また、V2Hも2基設置しており、これらのエネルギーマネジメントシステムを一体で運用することによって、地球環境に配慮するとともに、災害等が発生した際の電源確保が可能となります。

さらに、災害等による断水時には、約100名が3日間使用できる飲料水備蓄システムの初導入を予定しており、電気と水といったインフラ面で、地域のみなさまの安心を支えています。

<八王子店のエネルギーマネジメントシステム>



日産東京販売は、今後も日産東京販売ホールディングスグループの企業理念に基づき、地球環境への配慮及び地域社会に貢献する店舗づくりを進めてまいります。



本件に関するお問い合わせ：法務・広報・IR部 03-5496-5234